

茨城キリスト教学園高等学校同窓会報

ZION

シオン

No.

40

2020



●ZIONコレクション9

「自由な標準服—12回生頃」

女子はほぼ全員制服を持っていたが、カラーのネクタイ、花柄やチェック柄のブラウス、カラフルな上着、ベルトなど様々に個性に合わせて制服をコーディネート。自由な着こなしを楽しんだ。

やっぱり古典が好き

国語 齋藤 元子 先生

1月末、高校を訪ね齋藤元子先生にお話を伺った。現在進路指導を担当されている先生は、センター試験が済んで一息つかれたところだ。受験を控えた生徒一人一人に向き合うことのほか、連日のように送られてくる膨大な進路資料に目を通し、様々な大学等からの来訪者の対応も重要な仕事。気を張り詰めた多忙なこの時期にちよつとお時間を戴いた。

よろしくお願ひします。静かな声で落ち着いたたずまいの先生が入ってこられると、部屋の空気が和らいだ。「進路のこと何でも相談

できそう」と、きつと生徒達に信頼されているに違いない。

● 授業は古文と漢文を担当

「古典は日本文学の基礎であり日本人の感性を育んできた。グローバル教育とは自分たちの文化を良く理解することから」と仰る。留学を経験した生徒が日本の文化をもつと深く学びたいと、古典の大切さを再認識したりす

るとか。熱い授業に、先生はホントに古典が大好きなんですね、と言われてしまうそう。この高校の生徒達は活発に伝えてくれるし、とても素直に吸収してくれます」と微笑まれる。

● 齋藤先生は水戸市のご出身

水戸一高から早稲田大学第一文学部へと、なかなかのツワモノぞういの学生時代を送った。高校では生物部と囲碁部を掛け持ち。二年後輩恩田陸の著書「夜のピクニック」の徹夜で歩く恒例行事も三年間完歩した。大学ではリコーダーアンサンブル同好会に所属し、チェンバロで古楽演奏を楽しんだ。あの映画監督、是枝裕和君は同級生でした。と懐かしむ。文学部では平安の女流文学を研究し、卒論は「更級日記の夢の分析」。

● そして大学を卒業

卒業後は編集者を目指し出版流通会社に就職したが、やはり文学にもつと深く関わって



現在大学生のご長男と先生

● お気に入りの作家は

須賀敦子、宮沢賢治、司馬遼太郎は原子力関係のお仕事をされているご主人共に敬愛している。松本で大学生活を送る長男は名前に一文字頂いたとか。「項羽と劉邦」「坂の上の雲」はお薦め。最近では文学や社会学などの評論を手にすることが多い。

● オフの楽しみは

子供の頃から様々なお稽古事を楽しんできたが、ピアノは今も先生についてレッスンを続け、大好きなシヨパンをブラッシュアップ。

● 豊かな感性と知識、経験を活かして、齋藤先生はこれからも生徒達の未来への扉に導いてくださるでしょう。

豊かな感性と知識、経験を活かして、齋藤先生はこれからも生徒達の未来への扉に導いてくださるでしょう。



担任クラスの生徒と

演奏会で楽器と楽譜をセッティングしているところ。先生はテナーリコーダーを持っている



科のセミナーで(左上が先生)。1学年先輩には俵万智さん(下左から2人目)もいた



大学時代、高校の友人とディズニーランドへ(右から2人目)



来栖 光彦
31 回生
(水戸市在住)
薬物銃器対策課長
(前:科学捜査研究所長)



中澤 輝勝
40 回生
(水戸市在住)
刑事総務課



南 大輔
54 回生
(ひたちなか市在住)
石岡警察署交通課
(前:交通機動隊)



荒井 郁哉
58 回生
(水戸市在住)
交通機動隊

シオン卒業生も頑張ってます!

昨年度の第40回生「あの頃を語る」では、茨城県警察本部(以下県警)勤務の中澤さんのお声かけにより様々な職種の同級生4名に出席頂き、楽しいお話を伺うことができた。中澤さんは、警察官となったシオンの卒業生で構成される同窓会「県警シオン会」の事務局幹事を務め、年2回ほど会合(飲み会?)を開催している。今回は、そんな県警シオン会メンバーから4名に集まって頂き、私たちが疑問に思うことを含めた警察官の世界について、いろいろお聞きした。

(2月28日取材)

編集部 お集りいただき、ありがとうございます。皆さんは県警本部にお勤めと伺いましたが…。

中澤 はい。最近はシオン卒業生も増えて、どの警察署に行っても誰かには会えます。

編集部 頼もしいですね。まずは、警察官の志望動機について聴かせてください。

荒井 僕は前職があります。車のディーラーで2年間勤めた後に警察官になりました。安定を選んだと思われるでしょうけど、父も警察官だったので、知らず知らずのうちに背中を追っちゃったのかな。現在は交通機動隊の所属で、白バイに乗って交通取締りに従事しています。

編集部 ある意味、車関係の前職が今の仕事に活かされているということでしょうか。

中澤 私は誰も目指さない特殊な職業に就きたいと考え、頭に浮かんだのが警察官。学校側は「向いていない」との見立てでしたが、早々に合格を決めて周囲を驚かせることができ、狙いどおりの反響が得られて嬉しかったです(笑)。

来栖 私は大学で土木関係を学んでいたの、警察官になる意識は半々だったかな。ライフセーバーのバイトをしていたのがターニングポイントで、警察官と親しくなり、いろいろと話しているうちに「いいな」と思ってこの道に進みました。

警察官になって、振り出しが日立警察署。その後、行政の仕事や海外各国の大使館

での仕事も経験しました。シオンで学んだ英語が役立ちました、と言っておきます(笑)。

編集部 交通機動隊の制服って格好いいですよね。志望すればなれるものですか。

南 最初から白バイに乗れるわけではありません。警察官の採用試験に合格すると、まずは警察署に配属され、交番勤務をしながら専務係を目指します。

中澤 刑事も交通隊も「やりたい」って手を挙げてなれるものではありません。やる気は大事だけど適性も見られるし。なってから伸びる人を多く見ますね。

編集部 柔道や剣道をやっていないと警察官にはなれない?

南 そんなことはありません。警察官になってから段を取得する人が大半です。この体つきからは想像できないでしょうけど、私はシオンの剣道部です。

中澤 剣道部?シオンにあったかな。なぎなた部は知っているけど。

南 ありましたよ。確かに「なぎなた部」は強く、剣道部より目立ってましたね(笑)。

荒井 僕は野球部のキャプテンでした。上下関係が厳しく、先輩方に鍛えていただいたおかげで、多少のことでは弱音を吐かないのが自慢です。今では先輩方も優しく、川嶋先輩(31回生)に誘われて草野球を楽しんでいます。

編集部 お仕事の内容について、話せる

範囲で教えていただきたいのですが。

南 私は交機隊から昇任異動して、春から石岡警察署勤務になります。交通課で交通事故係を担当しますが、事故係は単なる処理ではなく、事故の原因を調査したり、同じような事故が発生しないように対策を考えることも仕事です。

来栖 私は科学捜査研究所に所属しています。いわゆる「科捜研」です。科捜研に警察官は少なくて、化学、物理、薬物など、捜査に必要な分野に関して博士号を取得しているような人たちの集まりです。

編集部 科捜研は現場に出て行くことが多いですか?テレビの勝手なイメージですが。

来栖 私は庁舎内の業務が多いです。鑑定官たちも研究室にこもって日々分析ですが、現場を支えるという意味では「科捜研の女」もあながち間違いではありません。

編集部 シオンでの学生生活において、特に思い出に残っていることは?

中澤 真面目に学校に行っていなかったからなあ。英語の先生が「君が授業に出ないのもノートをとらないのも理由が分かったよ」と、新品のノートを差し出されたときは心が震えましたね。

編集部 シオンの卒業生で良かったことはありますか。

荒井 自由な校風で育ったせいか、仕事上でも人に心を開くことに抵抗はありません。年代や部門の違う刑事の先輩方でも話しやすいし、何より頼りになります。

中澤 同窓会は「来る者拒まず」ですが、参加者は毎回20名前程度です。なぜか刑事部門の参加率が高いので、他部門も増やそうと考えています。聞くところでは、他校の同窓会は上座下座にうるさくて、やれ校歌を歌えだのと堅苦しい雰囲気らしく、その点、シオン会にはOBにも現職にも上下関係はなく、これも「人を愛する」とのシオンの校風が根付いているんでしょうね。

来栖 県警では多くのシオン卒業生が活躍しています。今の高校生に「警察の仕事は素晴らしい」と伝えていきたいです。もし、時間を取っていただけるなら、ぜひ後輩たちの勧誘に行きたいですね。

<取材を終えて…>

県警内にシオン会という組織があることにびっくりした。取材当日はシオン会長の黒澤浩さんは急遽所用が入り欠席。後日、「警察の仕事はとてもしや甲斐のある仕事で、同窓生の絆も大変強いものがあります。後輩のシオン生たちがあとに続いてくれるのを楽しみに待っています」とのコメントを頂いた。

皆さんは、県民の安全安心なまちづくりを目指して日夜勤務している方々であり、短時間ではあったが、人柄にも触れ、私たちと同じシオンの卒業生として誇りに思える時間となった。



池ノ辺 浩
(29回生)
ひたちなか市在住

同窓会が年2回の訳とは

程良く日焼けした顔は、社会人になってから始めたロードレースによるものである。月1度は仲間と70km走る公式練習をしている。

自転車との縁は、高校卒業式翌日に友達4人と取手競輪へ、横浜で1泊し小田原競輪へ行った頃からである。

部活は、中学からしていた卓球部に在籍。音楽も好きで、2年生の時には合唱コンクールで数少ないテナーパートで頑張り優勝。3年生を送る会では、ロック系のバンドを組んで演奏した。

卒業後は、神奈川工科大学に進学。日立製作所系列の会社に就職し、後に水戸支社に異動。今は家族とひたちなか市に居を構えている。

同窓会の幹事も引き受け、「仲間たちの夏と冬の装いが見たいから」と、年2回開催している。

人生を変える「出会い」

子供の頃から教職を天職と信じ、早稲田大学卒業後、横須賀学院小学校の教師に。教頭や指導主事を務めて第一線を退いた。現在は、銀行業務の一端を担っている。

高校の入学式で初めて聖書を手に讃美歌を歌った。それが人生を変える特別な出会いとなった。毎日の礼拝は静かに自分を見つめる最高に贅沢な時間だった。

部活ではテニス部部长を務めた。顧問の岩間英夫先生(後の校長)は、新任で生徒と共に考えて行動され、その姿勢から多くを学んだ。「聖書・先生・友人」という人生の宝を得たのが高校だった。

上京後、自然に教会に導かれた。岩間先生の影響もあり、キリスト教主義の学校の教師になった。

教え子たちからは「ディズニールand先生」と呼ばれていたほどで、今でも年に4~5回は5人の孫を連れてディズニールand通いを楽しみに、定年の無い人生を送っている。



久保野 孝
(19回生)
横須賀市在住



深谷 邦夫
(9回生)
水戸市在住

今年は傘寿

広島県呉市で出生。その後中学まで水戸で過ごす。

父が他界し、水戸へ転居。そこで学園の教員だった大森孝夫先生に勧められて高校入学。

テニス部に在籍。在学中は、チャペルはやや退屈に思えたが、知識教育、そして何よりも情操教育の大切さを学んだ。人に対する思いやり、やさしさが今自分の活動の根源になっている。

卒業後は銀行に就職したものの、32歳で起業。ガーデンスタイルを提案する(有)ジャルダンを立ち上げた。「エクステリア」部門のパイオニアである。

その会社も今は長男に任せ、ゴルフ、囲碁などを楽しみながら、水戸ホーリーホックの支援や産業経済団体で地域活性化の手伝いをしている。

●いま輝いています●
Bright

西洋鍛冶
アイアンワークの世界へ
ようこそ！

鍛鉄作家
筒井 哲平 (43回生)
笠間市稲田在住

笠間西インターを降りて10分。ナビを頼りに行きつ戻りつしている、筒井さんらしき人を発見。早速、仕事場に案内して頂いた。

広い敷地内の倉庫には、作品展に出品した大きなオブジェたち。その奥が自ら改造した作業場だ。

アイアンと古材を利用した心地良さそうな揺り椅子や製図台が置かれた事務所。ランプのやわらかな光がやさしい。入口のドアには飼ひ猫ミィ助専用の小さな出入り口が。壁には工房名「Levanale」のプレートが掛けてある。

見上げる程に天井の高い作業場には燃料のコークスが赤々と熱され、そこへ頑丈そうな皮革のエプロンを着けて筒井さん登場。



工房内を案内する筒井さん

1300〜1500度に熱された炉の中に無垢の鉄を入れ、真っ赤に熱されるのを待つ。取り出したらすぐに「アンビル」と呼ばれる成形台で叩いたり曲げたりして成形する。大小のハンマーで叩くリズムミカ的な音は、音楽にも似てどこか懐かしい。

筒井さんは、ヨーロッパの街角でよく見かける門扉や手すり、看板や建具などのデザイン、制作を行うオーダーメイドの鍛鉄作家だ。

本校では、ロックやギターにはまり、

音楽系の専門学校を卒業したが、アルバイトで経験したメキシコタイルの現場作業が面白くなり、「物作りをした」と、方向転換。東京都品川職業訓練校金属造形科で、製図や溶接の技術を学んだ。

卒業後は、工房「トランスファー」の倉田光太郎、畑中悟朗の両氏に師事。7年間の研鑽を重ねた。

20代半ばに、以前から興味があったスペインの建築家ガウディの建造物や内部構造が見たくなり、バックパッカーでスペインを巡る旅に出た。

鉄本来の質感、重厚感を生かし、かつ繊細さも表現された作品の数々を目の当たりにし、自分の目指す道筋を見つけた旅となった。

その後、古くから石材店が多く、石切りの道具を作る鍛冶屋も多い稲田の地に温かく迎えられ、独立した。工房を構えて15年になる。

もうすぐママに

現在、特別支援学校の教諭をしている。中学生の頃に漠然と教師への夢が芽生え、入学してからの先生方の細やかな指導と優しさに触れ、益々教師を目指すための勉強を頑張ることが出来た。

その頃、担任の渡邊治先生から特別支援学校の存在を知らされ、茨城大学教育学部特別支援教育コースに進むことになった。

個々の発達段階に応じて学習活動を組み指導することは、難しくもあるがやりがいを感じている。

在学中は、交換留学生としてオーストラリアに短期留学。今もホストファミリーとは連絡を取り合っている。

28歳で結婚し、今年は家族が増える予定。子供が生まれたら大変だと思いが、仕事面でも活かされ、今までとは違った視点からも生徒に向き合えると思う。



松浦 菜穂
(旧姓古市・59 回生)
水戸市在住



佐々木 真海
(69 回生)
宇都宮市在住

食料系の研究を極めたい

祖父が尊敬するお坊さんの名前から名付けられた真海(しんかい)さん。中学時代は野球部に所属していたが、高校では特進クラスだったため部活動はせず、自転車通学で放課後は自習。家でも勉強の日々を過ごした。

現在は、宇都宮大学農学部農業環境工学科に在籍。人類の持続的な生存のために環境を学び、環境を科学し、生産系と環境・生命系との調和を目指すユニークな学科である。食べることが生きることの基礎と考えているので、食料系の研究に進みたいと思っている。

大学に入ってから、夏休みに自転車店でアルバイトをしてバイクを購入。栃木の山を巡る日帰り旅行を楽しんでいる。

一人暮らしで自炊生活。家事は楽しく、しっかりこなしている。実習で野菜を収穫した時に、育てる苦労と単価を比較して、農業は大変だなと思うこともある。



キム 淑美
(旧姓久保田・49 回生)
ベラルーシ在住

モスクワで恋に落ちて

上智大学ロシア語学科を卒業後、さらにモスクワへ語学留学した。そこで出会ってしまったのが未来のご主人、韓国人のキムさん。すると今度は韓国の大学院で日本語学を修得。2年後に結婚し、現地の外国語高等学校で日本語の講師を勤めた。

只今、10か月から6年生までの4人のお母さんとして、学校の送り迎えやら育児に追われる日々。さらに、ご主人が韓国の貿易会社勤務とあって、外国で4年間、韓国で2年間というサイクルで転居という、生活自体が極めて変化に富んだ毎日である。

しかし、子供たちが成長し落ち着いたら、再び語学を活かして通訳や翻訳の仕事をしたい。また、各国の言葉を通してそれぞれの文化を理解し、人と人とを繋げるような人間的な仕事をしたいと思っている。

家庭と仕事は程良いバランスで

中学から続けていた剣道部での3年間。仲良し3人組との電車通学。祈りで始まる毎日。すべてが掛けがえのない日々だった。と振り返る。

埼玉医科大学医学部麻酔科を卒業後、同大学の研修医として2年間の研修を積み、結婚を機に地元のいわき市に戻った。現在は福島労災病院の麻酔科医として、フリーランスに勤務している。その傍ら、政治の世界を引退した夫、秀樹さんと実家のクリニック経営にも関わっている。

麻酔を導入する時は、「うまくいきますように!」と心の中で祈るのがルーティンだ。「仕事を続けられるのも夫の協力があってこそ。感謝しています」

娘さんは中学3年生。息子さんはこの春中学生になった。夫58歳、妻50歳。「今が一番幸せです」



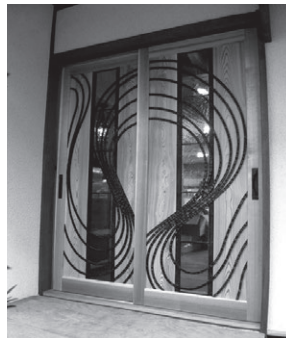
中村 美織
(旧姓田畑・39 回生)
いわき市在住



看板・プレート



フロアオブジェ



ヨーロッパ風の玄関ドアや門扉など重厚感のある作品は圧巻だ



アールヌーボー調の手すり

仕事の傍ら、楽しみながら建てた自宅は娘さんの成長と共にそろそろ手狭になり、目下自宅を建築中。ご両親は共に作陶家。お姉様夫妻は、南吉原でカフェバンドムシヤムシヤ＆「コーヒー」を開いている。これからも、自由にさまざましながら制作を続けていきたい」と語ってくれた。

制服 70 年の歩み

◆最初の標準服

開校した当時は物資不足の時代で、アメリカの教会関係から送られてきた海軍の水兵服(紺色のフラノ地)をリメイク。男子は、ブレザー・ズボン・白い開衿シャツ。女子は、ブレザー・スカート・白いブラウス。両方共に、ブレザーの胸ポケットに、金モールで「シオン」の名が入っていて、シオン学園を発展させるのだというフロンティア・スピリットに満ちていた。

しかし、2回生の時に、かまぼこ校舎に保管されていた衣料、ミシンなどが盗まれてしまい、残念なことに3回生からは自由服となってしまった。

◆制服のデザインは誰が？

1954年、保護者、生徒から「制服を」との要望が強くなり、家庭科の瀬谷貞子先生が妹の瀬谷秋子(本校卒業2回生)を推薦。東京のドレスメーカー女学院師範科卒の彼女がアメリカのハイスクールの女子服装などを参考にしながらデザインしたのが、女子の“制服”である。しかし、アメリカ人の理事から「過去の軍国主義のイメージが強い」との反対があったため、当初は“標準服”と呼ぶこととし、7回生から“制服”として全員着用となった。以来、今日まで愛され続け着用されている。

一方、男子の制服は黒の詰襟。帽章は1955年、森貞昭三先生(体育科教員)によってデザイン化された。

◆新しい男子制服

学園50周年を機に、男子の制服が「濃紺のトラディショナルなスーツにクリーム色のストライプのネクタイ」に変わった。胸のエンブレム、ボタン、タイには十字架模様が格調高くデザインされ、学園のイメージアップが期待された。〈写真A〉



〈写真A〉

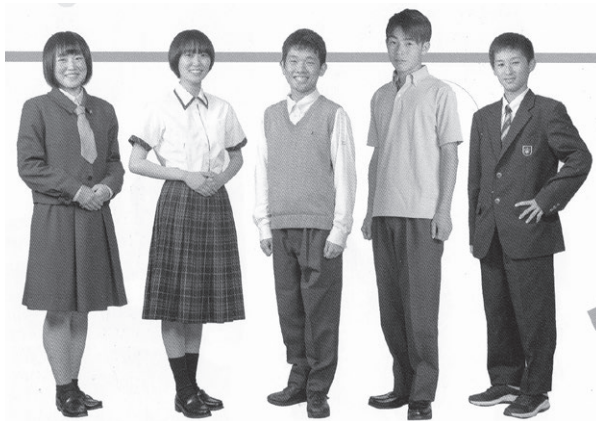
◆女子の夏制服

昨年(2019年)、女子の夏服がチェック柄のスカートと、同じ柄の縁取りが襟と袖口についた白いブラウスにリニューアルされた。

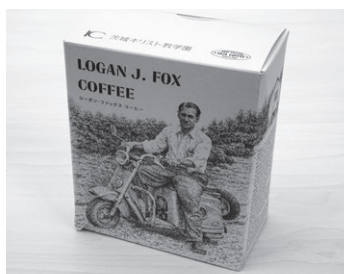
今年の春には男子のネクタイが復活。明るいブルーの2色のストライプが、女子のブルーの制服とマッチして爽やかである。〈写真B〉

*瀬谷貞子先生(故)の妹さん、赤津和子さん(12回生)とその娘さん、佐々木美和さん(43回生)にご協力頂きました。

〈写真B〉



冬服 夏服 夏服 男女ポロシャツ 冬服



再び「ローガン・J・ファックスコーヒー」

●学園創設者の一人・ローガン氏にちなんだ70年前のコーヒーを大学生や教職員たちが再現！

学園創立70周年を記念して高校同窓会が企画、製品化した「ローガンファックスコーヒー」が、学園大学による授業の一環で、パッケージも新たに商品化された。学園生協と製造元サザコーヒー本店で販売されている。

〈パッケージ制作〉●画：佃彰一郎(学園大学文学部教授)●企画・文：学園大学経営学部「地域マネジメント演習」履修生 ●指導：大久保隆弘(学園大学経営学部教授)●英訳：Jim Batten(学園大学名誉教授、学園元総長)

● 令和1年度同窓会への寄付者一覧 (65件)
(合計金額 313,500円) で得意ありがとうございました。

2 染谷愛子	15 赤井美智子	25 後藤謙一
5 佐藤敏光	16 隆 珠美	25 小松由実
5 高野倉子	16 木村俊子	27 大森明美
5 大山 寿	17 若松守正	30 金澤邦博
5 瀬木 昇	18 小林友子	34 今本祐子
7 佐々木みつ江	18 野手ユリ子	35 菅原真子
7 高塩信寿	18 郡司任孝	37 磯崎幹子
7 高野 勇	18 富田ひろ子	38 村山めぐみ
8 安藤佳世子	19 磯崎幸子	39 中村美織
8 加藤志津江	19 大月寛子	45 西村真樹
9 今村純一	20 菅原卓子	51 鈴木仁美
10 幡谷靖子	20 沼田敏江	59 大森真理子
11 戸張紀子	20 藤原智子	60 小橋稔彦
11 大谷俊恵	20 松田玲子	62 大森翔一郎
12 若松房枝	21 鈴木和子	64 川端春希
12 中郡靖子	22 塙町子	67 鯨岡祥子
12 石田順子	23 佐藤芳子	69 鯨岡禎子
13 石川育子	23 弓野孝子	旧職員 菅原信子
13 坂本喜伸	23 武士一枝	旧職員 7 原田きよ
14 瀬尾貞子	23 宇野光一	愛真会
14 丹羽智恵	25 栗原昌子	匿名 3名

開催しました!!



■ 11回 A組

R2年1月29日(水)、喜寿の会を水戸京成ホテルで開催。13名参加。福岡、東京周辺から7名。3年後4回目の成人式での再会を約束。



■ 22回生

R2年2月22日(土)、水戸三の丸ホテル。30名参加。来賓として、同窓会鈴木名誉会長、ヴォス校長、金澤事務長を迎え盛大に開催した。



■ 45回生

R1年12月29日(日)、水戸市フェリヴェールサンシャイン。50名参加。24年ぶりの再会で思い出話に花が咲き4次会まで続いた。今夏の再会を約束。

1995年卒業(45回生)のグループLINEが出来ました。80名登録。まだ未登録の方は、LINE ID koya1219に連絡下さい。

■ 高校OB 茨城県警同窓会

R1年10月19日(土)、学園記念館。爽やかな秋空のもと7名が参加。校内散策とキアラ館で開催されていたチャペルコンサートを楽しんだ。



■ 寮生の集い

R1年10月27日(土)、大みかクラブ。寮監だった広瀬先生、小嶋(掛札)先生、ヴォス校長、7回~20回の元寮生など、22名が参加。今年も開催予定。

「ZION」発行への寄付のお願い

15,000人以上の卒業生への「ZION」発行と送料で200万円以上が必要です。毎年資金が不足しております。ご協力をお願い致します。(「ZION」に同封の振込用紙をご使用下さい)

駅伝県高校新人大会で優勝

■ 陸上競技部(女子)

令和2年2月3日、那珂市笠松運動公園陸上競技場で行われた同大会で、3年ぶり23度目の優勝を飾った。昨年逃した全国大会に向け、良いスタートが切れた。

茨城県学生ビジネスプランコンテスト2019で最優秀賞受賞

令和1年11月30日、茨城大学水戸キャンパスで行われた同大会に2年生が、ぬいぐるみレンジャー「子どもたちを守れ!!」で出場。ICタグを活用した保育士支援のプレゼンテーションが、最優秀賞/茨城大学学長賞を受賞した。



第22回ヴォーカルアンサンブルフェスタいばらき

■ コーラス部

令和1年1月26日、常陸太田市パルティホールで開かれ関東大会推薦と奨励賞を受賞した。



ありがとうございました!

◆ 4名の先生が勇退されました。

- ・ 関 和彦先生(英語)
- ・ 杉浦美津雄先生(国語)
- ・ 阿久津一将先生(国語)
- ・ Elander.Joshur 先生(英語)

逝去されました

- ・ 木村弘子先生
- ・ 檜崎昭一先生

「シオン祭」参加。露店もスタッフも絶好調!!



昨年11月2日に開催されたシオン祭に参加。サザコーヒー、笠間焼などの販売とフリーマーケットを行ない多くの来場者で賑わった。学園版 LOGAN FOX Coffee の新発売イベントとして試飲コーナーも設置。収益金 77,382 円にホームカミングデーの収益金 6,600 円を加え、合計 10 万円が学園に寄付された。

★ 本誌編集スタッフ募集!

編・集・雑・感

今回の編集作業は新型コロナウイルス感染の拡大と同時進行であった。果たしてこの会報が皆様に届くころはどのような状況になっているのか予測不可能である。マスクと手洗いで頑張ったスタッフのお陰で兎にも角にも無事発行にこぎつけた。「あの頃を語る」は番外編として茨城県警本部に侵入。取材にあたり多大なるご協力を頂いた。また同窓生の方々各地で其々の形で活躍していることを紹介でき、広報委員冥利につける想いである。(A)

編集委員のメンバー高齢化に伴い、やる気ある若手(自称OK) 編集者を求む。

●編集スタッフ

ブキャナン理枝子・佐藤寿子・手塚正子・荒川真理子・原田順子
松田玲子・川崎美香子・高野雅之・芳賀友博

●デザイン：M-at

今年の
ホームカミング・デイ
は中止です!

- 事業報告●会計報告はHPに掲載します。
- 役員改選は次回ホームカミング・デイで行う予定です。



フランス菓子 **ルブラン**
水戸市千波町370 TEL.029-241-1991
<http://www.leblanc.co.jp>

介護付有料老人ホーム
一般財団法人 安寿苑
ローズヴィラ水戸
〒310-0903 水戸市堀町 1444-1
TEL029-254-8111
<http://www.rosevilla-mito.org>



富士企業(株)
310-0913 水戸市見川町2410
TEL 029-243-1777 FAX 029-243-1793

焼肉レストラン
風林
大小御宴会歓迎・送迎バス完備
青柳店 ☎(227)7606 (青柳公設市場通り)

Nakamura Office co.
Think difficult?
株式会社 中村オフィス
代表取締役 中村 潤治
水戸市西原 1-1-15 ロイヤルマンション 102
Tel・Fax 029-226-1140 携帯 090-3147-6700
nakamuraoffice@yahoo.co.jp

プライダールコーディネイト
 **トツカフローリスト**
(有)トツカフローリスト
水戸市泉町1-3-17
Tel.029-232-8711 Fax.029-224-5471

Anchor Staff
アンカースタッフ
●人材派遣業務 ●プロモーション業務
株式会社アンカースタッフ
取締役 黒木 亜希子 (旧姓・大内 / 37回生)
[本社] 〒310-0055 水戸市袴塚3丁目3-52 アンカースタッフビル
Tel.029-350-1551 Fax.029-350-1552
[HP] <http://anchor-staff.jp>
[東京オフィス]
中央区銀座7丁目13番6号サガミビル2F Tel.0800-777-2001

水戸ホーリーホックは、夢と感動と一体感の共有に向けて、
地域に根ざし、地域と歩み、地域に貢献し、地域と共に発展します。




**株式会社フットボールクラブ
水戸ホーリーホック**
茨城県東茨城郡城里町小町2268-3 城里町七会町民センターアツマーレ
TEL.0296-88-3900
<http://www.mito-hollyhock.net>

Hitachi Equipment Design & Construction
株式会社常陸設備設計
経済産業省 承認 電気保安法人
勝田事務所 〒312-0034 ひたちなか市堀口 832-2
(株)日立パワーソリューションズ勝田事業所内
TEL 029-276-5780 FAX 029-247-8924
E-mail: jyoisetu-hoan@vesta.ocn.ne.jp
水戸事務所 〒310-0844 水戸市住吉町192-35

茨城キリスト教学園
生活協同組合
これからも学園のみなさんの
よりよい生活のために努力し
ていきます。
**ONE FOR ALL
ALL FOR ONE**
**UNIV.
CO-OP**

地域の本づくり、
はじめました。
 **YUTARI**
www.hontoyutari.com
時の広告社 TEL.029-241-9216 (ゆたり出版)

おかげさまで創業63年
NEXT・カワ・ママ
川島プロパン・住みいるカワシマ・らぼーるカワシマ
住まいのコンビニ
らぼくらぶ
<http://puron.co.jp>
本社茨城県ひたちなか市津田2941 TEL.029-273-8751
日立: 日立市川原町5丁目4-15 TEL.0294-42-7111

いいものを創りたい。
 **株 笠間印刷所**
水戸市本町2-1-26
TEL 029-221-3048
E-mail: kasama@proof.ocn.ne.jp

建築設計・監理・既存建物調査
磯山設計事務所
一級建築士 磯山 治 (18回卒)
〒309-1736 笠間市八雲 1丁目5-16
TEL0296-77-0476 FAX0296-78-2365

**HOME ROASTED
SAZA COFFEE**
SINCE 1969
鈴木誉志男 (10回卒)
本社: ひたちなか市共栄町8-18
TEL 029-274-1151
www.saza.co.jp

★広告掲載(有料)希望される方ご一報ください

茨城キリスト教学園高等学校同窓会報

ZION No. 40

●発行日=2020年5月1日

●発行人=鈴木誉志男

●発行所=茨城キリスト教学園高等学校同窓会

〒319-1295 茨城県日立市大みか町6-11-1 TEL.0294-52-3215(代) FAX.0294-53-9271

<http://www.icc.ac.jp/zion/> E-mail: ih-dousou@icc.ac.jp